

# 2020年度秋 安藤百福名誉博士奨励賞

～ 学部学生（5セメ）対象 ～

安藤百福名誉博士奨励賞は、外部財団の奨学金をもらっている人でも応募ができます。

あなたもぜひチャレンジしてみませんか。

(※2020年度春セメスターより第3セメスター期の学生は応募対象外となりました)

## 募集要項

### I. 奨学金の目的

日清食品ホールディングス創業者の故安藤百福立命館大学名誉博士からのご寄付により、この賞は設置されています。将来、アジア太平洋地域のリーダーになることが期待されている者に対し、支援と激励を行うことを目的としています。百福先生は、本学の学生が将来アジア太平洋時代のリーダーになることを期待され、その遺志は引き継がれております。

### 【求める受賞者像】

- ・学業・活動ともに標準を上回ったうえで、学業または自主活動で何かひとつのことに集中して取り組み、やり遂げた者
- ・将来の目標を明確に持ち、その実現のためにAPUにおいて積極的な学生生活を送っている者
- ・今後の人生において成し遂げたいことに対して向き合い邁進している、またはその模索中であって目の前にあることに真摯に向き合い、困難にあっても貫く取り組み姿勢を持っている者
- ・将来、リーダーの立場で社会に貢献することが大きく期待される者
- ・倫理性と責任感を持ち、人間的魅力のある者
- ・安藤百福名誉博士奨学金制度の趣旨と目的を理解し、賛同する者

### II. 奨学金の概要

1. 表彰：50万円と賞状

※日清食品ホールディングス株式会社を訪問(2021年1～3月を予定、参加必須)した後に給付されます。

2. 採用人数：2名以内

### III. 応募資格

次の条件を全て満たす者とする。

1. 2020年秋セメスター時点で第5セメスター期の学生(第1～第4セメスターの活動が選考対象となります)
2. APU定期健康診断を受診している者
3. 2021年1月から3月頃に日清食品ホールディングス本社(東京)へ訪問できる者
4. 過去に懲戒処分を受ける等、受賞することが相応しくない者を除く

### IV. 評価のポイント

第1次選考、第2次選考とも、以下の評価ポイントや、奨励賞の目的への相応さについて評価します。

#### 【重点を置く評価項目】

1)	<b>学業・活動</b> 学業において優秀であり、学術的に優れた成果がある(または期待される)こと。課外活動においてリーダーシップを発揮し、優れた実績をあげていること。いずれか、または両方に該当すること。
2)	<b>将来性</b> APUの基本理念に共感し、高い志を掲げ、社会に貢献したいという強い意志、明確なビジョンや目標

	をもっていること。
<b>【基礎的な要件】</b>	
1)計画性 2)実行力 3)成果 4)説得力 5)独創性・創造性(故・安藤名誉博士が最も重視する要素として)	
<b>【応募者として】</b>	
1)	安藤百福名誉博士や日清食品ホールディングスへの理解と共感

## VI. スケジュール(選考から採用まで)

### 1. 1次選考

(1-1)1次選考提出書類について

【申請締切】 2020年10月23日(金) 16:30(日本時間)

【申請方法】 スチューデント・オフィス サーベイ

(1-2)1次選考結果発表

2020年11月12日(木) (キャンパスターミナル個人伝言にて)

### 2. 2次選考(プレゼンテーション動画提出、1次選考合格者のみ)

(2-1)2次選考ガイダンス(Zoomによる)

プレゼンテーション動画の準備(PPT・レジュメ・内容確認)、アドバイスの提供、情報提供を行います。

【日時】2020年11月13日(金) 18:00-18:30(日本時間・予定) \*詳細は後日連絡します。

【対象】1次選考合格者

(2-2)プレゼンテーション動画提出

【提出期日】2020年12月2日(水) 16:30(日本時間)

【動画時間】10分間

【動画テーマ】「あなたがAPU在学中に取り組んだ学業・課外活動のいずれか又は両方を示す活動をひとつ挙げ、そこから身につけたものを将来どのように活かして社会貢献するか述べなさい。また、奨学金(一部でも可)を自分の夢を達成するためにどのように活用するつもりか述べなさい。」

本テーマに沿った題をつけ、弁論(スピーチ)を準備して下さい。

【使用言語】10分間のうち、1分間は反対言語を使って自己紹介をし、9分間は基準言語または反対言語、もしくは両言語を使用。

【公開】動画はウェブサイト等で公開します。

(2-3)Zoomによる面接

【日時】2020年12月9日(水) 5限~6限または6~7限(日本時間・予定) \*詳細は後日連絡します。

【内容】動画を放映後、動画・申請書・日清食品ホールディングス株式会社および安藤百福氏についての質疑等に回答をする。

【使用言語】各候補者18分のうち、約5分間は反対言語、13分間は基準言語で質疑応答を行う。

(2-4)2次選考結果発表(受賞者発表)

2020年12月25日(金) (キャンパスターミナル個人伝言にて)

## VII. その他

1. 虚偽の申請、その他受賞にふさわしくない場合は、取り消します。申請書や発表で提供された情報の証拠を求められた場合、速やかに提出をしてください。
2. 選考の結果、該当者無しとなる場合もあります。
3. 書類に記入する個人情報は、受賞者の選考や会社訪問に関する手続きや本学からの連絡、および今後の奨学金制度の改善を図るため、個人が特定されない学内資料の作成目的のみに使用されます。但し、A棟1階の掲示スペースに受賞者の写真・氏名等が掲示される他、プレゼンテーションの際の画像や動画が大学により使用される場合があります。

## VIII. 問い合わせ先

立命館大学アジア太平洋大学 スチューデント・オフィス

奨学金担当: 芦田・乾

窓口時間	平日 10:00~16:30(火曜日のみ 11:30~16:30)
住所	〒874-8577 大分県別府市十文字原1丁目1番
TEL	0977-78-1124 (平日 9:00~17:30)
E-mail	apuschi@apu.ac.jp

## 安藤百福名誉博士



安藤百福氏は、1958年に世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明。お湯を注ぐとたった2分で食べられる「チキンラーメン」は《魔法のラーメン》と呼ばれ、またたく間に大ヒット商品となりました。

また、1971年には世界初のカップ麺「カップヌードル」を発明。さまざまな知恵と革新的な発想を結集した「カップヌードル」の誕生により、日本で生まれたインスタントラーメンが世界食に生まれ変わったのです。

2005年には、94歳で世界初の宇宙食ラーメン「スペース・ラム」を開発し、宇宙空間でも人類の食を支えた安藤百福。96歳でその生涯を閉じるまで、“クリエイティブな発想”と“最後まであきらめない執念”を持ち続けていました。

安藤百福氏は、立命館大学を1934年に修了、1996年に立命館大学名誉博士を授与されています。

(日清食品グループホームページより引用)